

調査・研修等計画届出書

令和7年11月4日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和7年11月11日から11月12日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会	
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2-1）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	11月11日（火）14:00 から 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道155号）の進捗状況について 厚生労働省 ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 11月12日（水）10:30 から 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	・小澤 勝・三木 雪実・富田 宗一・宮菌 伸仁 ・山内 誠一郎・朝井 賢次・黒柳 知世	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 7年 12月 18日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和7年11月11日から11月12日まで（1泊2日）
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2-1）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>11月11日（火）14:00から</p> <p>国土交通省 国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道155号）の進捗状況について</p> <p>厚生労働省</p> <ul style="list-style-type: none">・公立病院の全国的な経営状況について・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について <p>11月12日（水）10:30から</p> <p>文部科学省</p> <ul style="list-style-type: none">・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察

令和7年11月11日

場所：第1会館 第7会議室

1 国道155号線整備事業の進捗について

講師：国土交通省 道路局 国道・技術課 課長補佐

内田 豪士 氏

(1) 幡山東小学校前の整備状況

- ・当該区間については、用地買収がほぼ完了している。
- ・通学路となっている歩道について、安全に通行できるよう整備を進めている。

(2) 記念橋から萩山方面の区間について

- ・当該区間は歩道が整備されていない箇所が多く、通学路として危険な状況。
- ・歩道整備の必要性が認識されている。

整備については以下の機関が連携して進めていく。

- ・国土交通省
- ・名古屋国道事務所
- ・豊田維持出張所
- ・瀬戸市

(3) 課題

- ・道路沿線に民家が接近している箇所が多く、歩道整備には用地買収が必要となる。
- ・用地買収には沿線住民の理解と合意形成が不可欠。
- ・事業費の増加も想定されるため、慎重な検討が必要。

(4) 地域状況

近年、瀬戸市では以下の要因により人口流入が増加している。

- ・豊田市のベッドタウンとしての住宅需要
- ・ソラン学園の開校
- ・にじの丘学園との相乗効果

これらの要因により、通勤・通学路として国道155号線の重要性が高まっている。

(5) 今後の方向性

整備を進めるためには

- ・国土交通省
- ・瀬戸市
- ・地域住民

の連携が不可欠であり、通学路点検や地域との協議を通じて合意形成を図る必要がある。

(6) 所感

今回の説明を通じて、国としては国道155号線の整備について一定の理解を示しており、事業を進める用意があると感じた。

ただし、事業推進には瀬戸市との連携強化と地域との合意形成が不可欠であり、今後は予算確保を含めた継続的な取り組みが必要と考える。また、国の担当官に直接要望を行うことができ、今後の事業推進に向けた意見交換を行うことができた。

2 公立病院の全国的な経営状況について

講師:厚生労働省 医政局 医療経営支援課 医療法人支援室長 桑原 寛 氏
総務省 自治財政局 準公営企業室 課長補佐 有村 誠一郎 氏

(1) 公立病院の経営状況

- ・全国の公立病院の8割以上が赤字経営
- ・民間病院でも約半数が赤字

医業収益は伸びているものの

- ・人件費
- ・光熱費
- ・食材料費

などの増加により経営状況は悪化している。

(2) 人件費増加の要因

公立病院では

- ・人事院勧告に基づく賃上げ

が実施されるため、人件費が経営を圧迫する傾向にある。

一方、民間病院では人件費の上昇を抑えることで経営を維持しているケースが多い。

そのため、公立病院の経営者は

- ・職員待遇の改善
- ・病院経営の維持

の板挟み状態となっている。

(3) 国の支援方針

政府は医療機関に対する支援を強化する方針であり、以下の支援策が示された。

①賃上げに向けた生産性向上・職場環境改善支援額 828億円

②医療需要の変化への対応

- ・病床数適正化への支援 428億円

③産科・小児科への支援

- ・分娩数減少に対応 55億円

④食材料費・光熱水費の支援

そのほか、

福祉医療機構による資金融資制度などがある。

(4) 地域医療の役割

公立病院は

- ・救急医療
- ・小児医療
- ・周産期医療
- ・感染症対応
- ・災害医療

など、民間病院では採算面から担いにくい医療を担っており、地域医療に不可欠な存在である。

(5) 公立陶生病院について

公立陶生病院は、コロナ禍の際に

約100床を感染症対応として確保した実績があり、地域の基幹病院として重要な役割を果たしている。

将来の感染症や災害を考えると、安易に病床削減を行うべきではないと考えられる。

(6) 所感

医療機関の経営悪化は全国的な問題であり、特に公立病院は

- ・賃上げ
- ・医療体制維持

の両立が難しい状況にある。

地域医療を維持するためには、国の財政支援とともに、医療現場の生産性向上や業務の自動化などの取り組みも重要になると感じた。

令和7年11月12日

場所：第2会館 第10会議室

全国的な学校給食調理施設の更新の方向性について

講師：文部科学省大臣官房 文教施設企画・防災部 施設助成課 和田 有未 氏

総合教育政策局 健康教育・食育課 宮野 恵光 氏

(1) 学校給食調理方式

学校給食の調理方式には

- ・単独校調理方式
- ・給食センター方式

があり、どちらを採用するかは各自治体の状況に応じて判断される。

(2) 国の補助制度

学校給食施設整備には学校施設環境改善交付金が活用できる。

対象事業

- ・調理場施設
- ・炊飯給食施設 など

補助率

- ・ 新增築 1/2
- ・ 改築 1/3

(3) 衛生管理方式

現在、瀬戸市ではウェットシステムをドライ運用している。

国としては・衛生基準を満たしていれば方式は問わないとしながらもドライシステムを推奨している。

(4) 単独校方式のメリット

食育の観点から

- ・ 調理している様子が身近に感じられる
 - ・ 匂いなどから調理を実感できる
 - ・ 温かい給食を提供できる
- といった利点がある。

(5) センター方式のメリット

- ・ 大量調理により効率化
 - ・ 食材費の削減
 - ・ コスト削減
- などの利点がある。

(6) 防災機能

学校給食施設は災害時の炊き出し機能としても重要である。

能登半島地震では

- ・ 学校が避難所として活用
 - ・ 給食室で食事提供
- が行われた。

そのため、給食施設は防災拠点としての役割も考慮する必要がある。

(7) 給食費無償化

政府では学校給食費の無償化について検討が進められている。

議論としては・まず小学校から実施が検討されている。しかし

- ・ 地産地消を進める自治体では
 - ・ 国の補助だけでは食材費が不足する可能性
- などの課題がある。

国としては地産地消を推進している自治体の取り組みを損なわない形で制度設計を検討しているとの説明であった。

(8) 所感

学校給食施設は

- ・ 食育
- ・ コスト

- ・防災

という複数の観点から検討する必要があると感じた。

特に災害時の炊き出し機能など、地域防災の視点からも給食施設の役割は大きく、今後の施設更新において重要な検討要素になると考える。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	330	円	円
	高蔵寺	JR	片道	名古屋	24	km	6,600	円	円
	11	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円
月						km		円	円
11						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	アパホテル小伝馬町駅前				0570-042-411		15,396 円		
備考欄									

27,246 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年	東京	新幹線	片道	名古屋	366	km	6,600	円	4,920
	名古屋	JR	片道	高蔵寺	24	km		円	円
	11	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市	6.2	km	330	円
月						km		円	円
12						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 11,850 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月						km		円	円
						km		円	円
							km		円
							km		円
							km		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

バック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

15,396 円

23,700 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

39,096 円